

令和5年度第1回諫早市在宅医療・介護連携推進会議（要旨）

- 1 期 日 令和5年8月24日（木）午後7時～8時15分
- 2 場 所 健康福祉センター2階 第一研修室

【報告】

（1）諫早市在宅医療・介護連携支援センター「かけはしいさはや」について

①令和4年度 活動報告について

（1）「K a k e h a s h i いさはや」情報誌の発行

令和4年度はV o l . 6 ～ V o l . 8 を発行

（2）Z o o mによる医療・介護関係者の研修会の開催

主催3回と共催3回（在宅ケアサークル）の計6回開催で、参加者の合計は459人となった。コロナ禍のためオンライン研修が中心であったが、前年度から継続しているACPをテーマとした研修では、対面でのグループワークを取り入れるなど工夫し、開催した。

【意見など】 なし

②令和5年度 事業計画について

令和5年度も引き続き、8つの事業項目を再編したア～キの項目に沿って事業を進める。

【意見など】 なし

（2）ACPについて

①令和4年度 ACP講演会について

令和5年3月4日、市民を対象としたACPについての講演会を開催し、参加者数は119名となった。アンケートでは「講演までACPを知らなかった」という回答が約70%を占めたが、同時に94%が「ACPが必要だと思う」と回答し、「家族にも今日の内容を伝えたい」「冊子は分かりやすく、実際に記入できてよかった」など、好評を得た。今年度も市民向けACP講演会を実施予定。

【意見など】 なし

②ACP普及啓発の取り組みについて

前回会議での委員からの意見・提案に関する現在の取組状況を報告した。これまでに「ラジオでの周知」「諫早駅モニターでの動画放映」等を実施。

【意見など】 なし

【議事】

(1) ACPについての冊子を活用した普及啓発について

在宅医療・介護連携推進事業の課題として、市作成のACP冊子の活用がある。これまでに冊子は医師会などの関係機関や病院、介護事業所、市役所や図書館などに配布し、講演会や「お気軽座談会」で記入の実践を進めてきた。今回は医療・介護現場での活用について、委員から御意見を伺いたい。

○意見交換

・主な意見については別紙のとおり

医療機関などに配布された分も、まだ実際の活用事例はなく、渡すだけになってしまっている面がある。病院に設置していると、気付くとなくなっているのも、興味関心があることは感じる。

冊子のタイトルから「最期」を連想するものであるため、渡すタイミングが難しい。実際に記入活用してもらうためには、入退院や回復のタイミングで、病院や在宅支援に関わる相手が信頼関係を築いた上で渡し、説明することが効果的ではないか。

また今設置している病院等にアンケートや聞き取りを行い、冊子の実働や働きを積み上げていくことが必要。

→意見を集約し、今後の対応については次回報告。